

第171回和光市環境づくり市民会議定例会(全体会議)要旨

日 時 令和3年11月16日(火) 午後3時～午後4時15分
場 所 503会議室
出席者 6名
 峯岸正雄、高橋勝緒、磯村史織、小林新、友國洋、松田廣行
傍聴者 なし
事務局 主幹 加藤、中島

1 開会

- 会長あいさつ
- 理化学研究所より新たに磯村氏に担当変更あり

2 議題

(1)第2次和光市環境基本計画【改訂版】実施状況評価について
〈事務局から説明〉

第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】実施状況に対する評価のただき台について議論し、年内に確定をお願いしたい。

質問・意見等

- (会長) 従来、第2次和光市環境基本計画実行計画【改訂版】に対する評価は、1年毎に評価している。今回は、令和2年度が実行計画【改訂版】の最終年度になるため、令和2年度の評価および5年間の総合評価をまとめた。
- (会員) 「和光市環境審議会が令和3年2月12日付で和光市気候非常事態宣言を市長あて提言しており、市として前向きな対応をお願いします」とあるが、ということか。
→ (会長) 昨年度の環境審議会に於いて、色々な都市が環境宣言を行っているが、和光市も二酸化炭素の排出量の削減目標を掲げ、努力しているので、環境を意識したまちであると世の中に認識してもらうため宣言してはどうかということで提言した。その後の進捗がはっきりしていないため、再度お願いした。また、みどりを守るには資金調達が問題になってくるが、和光市独自の市民税を創設する可能性もあるかも知れないので、市民に対する宣伝ということも含めて載せた。
- (会員) 第3次和光市環境基本計画実行計画はどうするのか。
→ (事務局) 第3次和光市環境基本計画実行計画は策定中であり、最終的には審議会にかけて決定していく。環境づくり市民会議および地球温暖化対策委員会の意見を伺ってまとめたものを審議会で審議して戴く。
→ (会長) 前回、前々回の環境づくり市民会議からの意見を反映してもらいたい。
- (会長) 5年間を通して見た時に、和光市で何が大切か考えると、ひとつは緑地湧水、もう一つは和光市独自の二酸化炭素排出量削減計画だと考え、この2つを提言の最後に記載した。

→（会員）二酸化炭素削減は、グローバルな問題。緑地はローカルな問題で、和光市の水環境をどう良くしていくかという問題。和光市の様な工業もない自治体が、二酸化炭素削減といっても効果が薄いのではないか。

- （会長）評価について、追加したい内容や修正があれば、今月中に事務局へ連絡をお願いします。

(2)その他

- 前回の会議で発言のあった「第3次和光市環境基本計画実行計画」の「公共交通及び自転車の利用促進」の施策についての報告。

外かん側道の自動運転サービスについては、現在、公共交通政策室で事業の検討を進めている。どのような車両等を導入するのかは未定であり、省エネ等のエネルギーの観点において、環境に寄与するかどうか不透明であり、自動運転サービスの実施に当たっては、外かん側道の植栽帯を専用レーンに転換することとなるから、緑化の観点においては相反するものであること、自動運転サービスは様々な公共交通政策のうちの一部の取組でしかないこと等から、自動運転サービスを特段に取り上げて、記載することは行わないと考えている。

- 丸山台地区の外かんの上部利用についての報告。

現在、資産戦略課において利用に関する基本方針の策定に向けてネクスコと協議中であり、外かん上部の活用方策については定まっておらず、基本方針の策定は来年度以降になると担当課から聞いている。

- 次回開催 令和3年12月21日（火）午後3時から 503会議室

3 閉会